

学校目標	地域に愛される学校を目指し、創立以来の目標である「平和の天使」を育成していく。
	本校で学ぶ子どもたちが、多様性と課題に満ちたこれからの世界の中で、“神の手足となり、人々の心を平和のうちにつなぐ人”として仲間のために生きるには、真理を探究し続ける力と、幸せを実現するための最適解を仲間とともに創り出す力を育みことが必要である。知識・情報・智恵を活用し合い、互いの持つ力を引き出し合い、仲間とともに最適解を創り出す経験を、子どもたち自身が豊かに積み上げていけるよう、探究学習を軸にした学びの場を提供していく。

ICT（オンライン学習）	コロナ禍であっても、学びを止めない取り組みと最新の学びの実現
英語教育	世界の人々と、平和の実現にむけた対話を深めるツールとしての英語力や国際関係力を養成
探究	世界の仲間と協働し、多様な価値観や能力を引き出し合い、真の幸せの創造へと昇華していく力を養成

学校自己評価			
重点目標	取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
探究学習実践による教育充実（探究・英語教育・ICT教育）	①ICT教育	オンライン授業の実践	○中学校高等学校共通 2020年度から引き続き、コロナによる影響があった中で、猛威をふるっている時期に完全オンライン授業に移行した。過去4年(2017年度～)のiPadを用いたICT教育実践があったため、2020年度にも増して非常にスムーズな移行が図ることができた。そのため、休校措置をとることなく、オンラインによる子どもたちの学びの保証ができる取り組みができた。 2021年8月26日(木)～9月12日(日) 2022年1月24日(月)～2月13日(日)
		iPadの活用について、全教員がICTツールを用いて活用できたか	コロナ禍によって、ICT教育 常に実践が求められた。その結果、実践力が圧倒的に高まり、推進することができた。今後さらにICT教育を推進する上で、全教員が指導できるレベルに達する必要がある。そのレベルを維持するために生徒への授業アンケートを外部委託しながら、客観的評価に基づいて行う必要性があると感じている。よって2021年度よりその指標を作成し、評価を行っていく。教職員のほとんどが、なんらかのiPad活用を行い、生徒との相互性を高めている。
	②英語教育	英語教育の充実を図ることができたか	○コロナ禍で、国際系イベント(修学旅行や研修旅行)などが全て中止となり、英語教育全般の活動が制約されることとなったが、2020年度にはいけなかったターム留学及び1年留学が実施することができた。また、オンライン留学や校内で在日外国人によるエンパワーメントプログラムを実施することができた。
	③探究	探究学習がより充実することができたか	昨年に引き続きコロナ禍により、様々な探究活動が制限されたが、その中でも、個人における調査研究領域、比較的活動しやすく、研究発表に関しても、オンラインであるが実現することができた。
教育のレベル向上	各種教員研修の実施	各種研修の実施の有無	○ICT教育のスキル向上にむけた少人数グループ単位の授業研究会を5回以上実施 ・宗教研修1回実施 ・人権研修1回実施・他校教員との授業検討会の開催(自主参加) ・様々な教育フォーラムに参加する教員が多数
教育環境の整備	生徒増に対応する、安心・安全・快適な環境作り	各種設備の新設や増設、人員の増員と確実な配置ができたか。そのために必要な工事や教職員採用を行ったか。	○1タブレット一斉使用に堪えうるwi-fi環境の整備(環境の強化)⇒wi-fi環境整備が完成。電波の弱い部分には、ホーム5Gを設置した。オンライン授業対応でうまく活用できた 2防犯防災設備の充実・防火設備定期検査(法令による実施) ・生徒数増に伴う守衛体制の強化、防犯カメラの増設、廊下への緊急連絡用内線電話の設置⇒次年度全電話システムの更新に合わせて実施 3設備の点検と改修 4その他 ・セブンイレブン自販機の稼働、キッチンカーの導入・休憩スペース、各種自動販売機の増設

学校関係者評価	<p>コロナ禍において、オンラインなどの対応が早く、感謝している。</p> <p>昨年同様コロナでたくさんの行事がなくなる中、工夫をしてくれ、文化祭、体育祭などが実施されてよかった。</p> <p>コロナ対応で運営が大変だったと思うが、先生方が一生懸命されていて感謝している。</p> <p>海外との取り組みなど、もう少しやって欲しい。</p>
---------	--